

令和4年度 課の運営方針書

財政部 契約監理課

1 課の運営方針

【課の使命】

市が発注する工事、業務委託、物品調達等の入札及び契約について、公契約事務としての効率化を進めるとともに、公平性・競争性・透明性を有した適正な入札・契約制度の確立を図るため、継続的に制度の検証と見直しを行います。

公共工事については、品質の確保を目的として、価格及び品質が総合的に優れた調達に努めるとともに、建設技術の指導・助言、厳正な工事検査により、適正な施工を維持することで、市民の安心・安全の確保と、良質な社会資本の整備を目指します。

【課の目標】

①公平・公正性の高い入札制度の確立

公共サービスの質の向上及び適正な競争性が確保されるよう、適正な入札・契約制度の運用と継続的な制度の検証と見直しを図ります。
また、電子入札の運用を開始し、入札事務の透明性と応札者の利便性の向上を図ります。

②社会情勢に対応した入札制度の推進

公共工事において、施工時期の平準化の推進や働き方改革への対応、ダンピング対策の強化等を図るため、多様な入札制度について検討し、入札・契約制度の見直しを行います。

③職員の人材育成、技術指導の徹底

建設部門の技術的指導及び設計積算におけるチェック体制の強化とともに入札・契約制度に対するコンプライアンス研修の充実を図り、市民に信頼される職員の育成に努めます。

④公共工事の適正な施工・品質の確保の推進

公共工事は、適正な施工により、安全性とともに品質の確保が必要であり、積算・施工管理・建設技術の適切な指導・助言と、厳正な工事検査を実施します。

⑤入札監視委員会の活用

第三者機関である入札監視委員会の活用により、入札・契約事務における透明性の確保を図ります。

【行財政改革への取組み】

(工事担当) : 電子入札システムの導入により入札事務の効率化を図ります。

(物品業務委託担当) : 長期継続契約の適用により、繁忙期の入札業務を軽減し、事務の効率化を図ります。

(入札制度改革・技術指導室) : 設計積算、現場監理において発生する課題に適切かつ迅速に対応するために、OJTによる取り組みを支援し技術力の継承を図ります。

2 担当(係)の使命(果たす役割)

(工事担当) : 工事及び測量・コンサル業務の入札事務及び契約監理事務、競争入札参加者の登録事務を行います。

(物品業務委託担当) : 業務委託及び物品調達等の入札事務及び契約監理事務、競争入札参加者の登録事務などを行います。

(入札制度改革・技術指導室) : 電子入札をはじめとする入札制度の改革、建設技術の統括及び指導、建設部門の総合調整を行います。

(検査監) : 建設工事における検査を行います。

3 課の経営資源

(1) 課の体制

職員数	12.2 人	うち	正職員	12 人	・	会計年度 任用職員	0.2 人	人件費	正職員	85,860 千円	会計年度 任用職員	287 千円
-----	--------	----	-----	------	---	--------------	-------	-----	-----	-----------	--------------	--------

※R2職員平均給与(7,155 千円)ベース

※予算計上額

(2) 事業規模

歳入予算額	2,580 千円	歳出予算額	8,527 千円	(正職員人件費を除く)	担当予算事業数	2 事業
-------	----------	-------	----------	-------------	---------	------

4 課の中期目標（優先順）第2次周南市まちづくり総合計画・後期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果（最終目標）
1	9 都市経営 2 適正かつ透明な行政運営の推進 2 適正な事務執行の推進 (厳正な入札契約事務の執行)	○公平公正で競争性のある入札を実施します。 ○入札監視委員会を活用し、事務の透明化を図ります。
2	(公平性、透明性、競争性を有する入札制度改革の実施)	○既存の入札制度の検証や入札監視委員会からの提言についての検討を行い、公平性、競争性、透明性を有する入札制度を確立します。 ○入札・契約事務の電子化を行い、入札の透明性の向上を図ります。
3	(人材育成及び技術的指導の強化)	○工事発注事務の適切な実施のための支援・指導により、設計図書のチェック体制の強化を図ります。 ○技術職員人材育成プランに基づく職員の技術力及びコンプライアンス意識の強化を図ります。
4	(公共工事の適正な施工と良好な品質の確保)	○公正中立な立場で完了検査を行い、適正な施工と品質の確保を図ります。